

研究業績一覧（2022年）

飯塚 信夫（イイツカ ノブオ）

1 論文

- 「一筋縄ではいかない、建設工事受注動態統計と GDP の関係」（小巻泰之氏らとの共著）、東京財団政策研究所 REVIEW R-2021-032、2022年1月
- 「公的固定資本形成のリアルタイムデータにみる建設統計不正問題の影響」（単著）、東京財団政策研究所 REVIEW R-2021-051、2022年2月
- 「政府の税収見通しの精度」（単著）、東京財団政策研究所 REVIEW R-2022-024、2022年7月
- N. Arai, N. Iizuka, Y. Yamamoto “The Efficiency of the Government’s Revenue Projections”, *HIAS Discussion Paper Series* HIAS-E-122 September 2022

2 学会報告

- 「コンセンサス予測は“最良の予測”なのか～日本の四半期 GDP 成長率予測による検証～」
第37回応用経済時系列研究会・研究報告会（ZOOM 開催）、10月22日

3 その他

国際経済交流財団『Japan Spotlight』における以下の連載

「Economic Indicators for Japan」

- Comparing the Japanese Economic Outlooks of the Government, Bank of Japan & Private Sector（2022年1/2月号）
- Japan as Seen in the Population Census（2022年3/4月号）
- Price Trends in Japan Looking Similar to 2008（2022年5/6月号）
- Revenge Consumption– Will It Finally Start to Move?（2022年7/8月号）
- New Indicators Emerge for Understanding Transmission of Price Changes（2022年9/10月号）
- Impact on Japanese Corporate Profits of Non-Domestic & Non-Core Business Becoming Stronger（2022年11/12月号）

出雲 雅志（イズモ マサシ）

1 その他

「解説：宮村タネの歩みをたどって」神奈川大学資料編纂室編『神奈川大学史紀要』第7号、102-123、2022年3月

岩木 宏道（イワキ ヒロミチ）

1 学術論文

Iwaki, Hiromichi, and Junyu Saito, 2022, Does rollover risk matter to payout policies? Evidence from Japanese listed firms, *Journal of Economics and Business* 120, 106055

浦上 拓也（ウラガミ タクヤ）

1 論文

「プライベート・ブランド調達における研究課題」『商経論叢』57巻3号、269-283頁、2022年3月

2 学会発表

「プライベート・ブランド調達の課題」日本流通学会関東・甲信越部会（Zoom開催）、2022年3月19日

3 その他

『流通と商業データブッカー理論と現象から考える』「日用雑貨の流通」21-23頁、「食品スーパーの情報ネットワーク」97-98頁、「コンビニエンス・ストアの情報ネットワーク」98-100頁、「プライベート・ブランド（OWN・ブランド）とその論理」111-113頁、「小売業における再編の構図」213-215頁、「ホールセール・クラブ」282-284頁、「パルタックー日用雑貨の流通」325-327頁、有斐閣、2022年9月（分担執筆）

浦沢 聡士（ウラサワ サトシ）

1 論文等

「クレジットカード利用情報を用いたサービス消費のリアルタイム予測」神奈川大学『Kanagawa University Economic Society Discussion Paper』No. 2021-02、2022年3月

2 学会発表、講演

「GDP ナウキャスト：成果と課題—オルタナティブデータの活用に向けて—」日本経済研究センターAI・ビッグデータ経済モデル研究会、2022年2月

「経済変動の捉え方—長期的な傾向を掴む“トレンド”、短期的な動きを見る“景気”、今を知る“ナウキャスト”—」厚生労働省、2022年9月

「クレカ利用情報を用いたサービス消費のリアルタイム予測—「JCB 消費 NOW」を用いたQE/ サビ動の補外予測—」内閣府、2022年10月

3 研究助成

「リアルタイム・データを用いた GDP 予測手法の開発」日本学術振興会：2021～2022年度、科学研究費助成事業研究活動スタート支援

枝村 一磨（エダムラ カズマ）

1 論文

枝村一磨・長岡貞男・大西宏一郎（2022.6）「日本の研究開発のスピルオーバー効果：長期データによる検証（1983-2019）」RIETI Discussion Paper Series 22-J-024

枝村一磨・乾友彦（2022.3）「企業における研究者の多様性と特許出願行動」研究技術計画 Vol. 37, No.1, pp. 6-19

2 研究発表

「産学連携と大学の研究生産性」研究・イノベーション学会第37回年次学術大会、オンライン開催、2022年10月30日

江元 正和（エモト マサカズ）

1 学会報告

“Government Policy with Entrepreneur’s Tax Evasion”, IEFS Japan Annual Meeting 2021, 2022/03/28

“Firm Dynamics and Economic Growth with the Informal Sector”, The 21st annual SAET conference, 2022/07/21

大島 朋剛（オオシマ トモタカ）

1 研究助成

「近現代日本における酒類消費に関する研究」、科学研究費補助金、基盤研究（C）（2017年度

～22年度)、課題番号：17K03852

小山 和伸 (オヤマ カズノブ)

1 論文

「技術と産業社会 ―日本労務管理史の再考に向かって―」“Technology and Industrial Society – Toward a Reconsideration of the History of Japanese Labor Management –”『商経論叢』第57巻第3号, 2022年3月

“Nuclear Power Technology in Post-Industrial Civilization – A Comparative Study of France and Japan –” Kazunobu OYAMA, Fondation France-Japon de l'EHEESS (École des hautes études en sciences sociales) (<https://hal.archives-ouvertes.fr/hal-03737847/document>) 2022.7

「航空機事故に見る技術的リスクとその克服」“Overcoming Technological Risk: A Case of Aviation”『商経論叢』第58巻第1号, 2022年10月

2 著書

『パリ滞在記』展転社, 2022年7月

金澤 雄一郎 (カナザワ ユウイチロウ)

1 学術論文

神藤彩子・金澤雄一郎「女性の覚醒剤事犯者が薬物依存に至る過程」『行動計量学』49(2)、175-184頁、2022/09【査読有】

Tomoki Matsumoto, Tomohito Kamai, and Yuichiro Kanazawa “Reexamination of Bargaining Power in the Distribution Channel under Possible Price Pass-through Behaviors of Retailers” July 17, 2022. Available at SSRN: <https://ssrn.com/abstract=4164997> or <http://dx.doi.org/10.2139/ssrn.4164997>

Jaclyn McAlester and Yuichiro Kanazawa “Situating zoonotic diseases in peacebuilding and development theories: Prioritizing zoonoses in Jordan” PLOS ONE 17 (3), 2022/03【査読有】

東條真希・遊間義一・金澤雄一郎・荻原彩佳「大学生の逸脱行動における異質性に関する予備的調査」兵庫教育大学『教育実践学論集』23、89-100頁、(共著) 2022/03【査読有】

遊間義一・金澤雄一郎・河原哲雄・東條真希・荻原彩佳・石田祥子「PC用日本語版アイオワギャンブル課題の開発と英語版との同等性」(“Development of the Japanese version of the Iowa Gambling Task for PC and its equivalence to the English version”)『心理学研究』93(2)、129-138頁、2022/02【査読有】

2 学会発表

Tomoki Matsumoto, Tomohito Kamai, and Yuichiro Kanazawa “Reexamination of bargaining

power in the distribution channel under possible price pass-through behaviors of retailers” 京都大学数理解析研究所 RIMS 共同研究（グループ型 A）による研究会“ベイズ法と統計的推測”（zoom によるオンライン開催）、2022年3月7日-3月9日

3 研究助成

「Aitchison 幾何学と Nash 交渉解による離散選択モデルの精緻化」日本学術振興会：2020-2022年度科学研究費助成事業 基盤研究（C）（経済統計）（研究代表者）

「再犯状況からみた性犯罪受刑者における犯罪行動の特殊・固定化と多様化」日本学術振興会：2022-2026年度科学研究費助成事業 基盤研究（C）（臨床心理学）（研究分担者）

4 その他

Member, The Trustworthiness Research Alliance (<https://www.trustworthiness.ca/researchers.htm>)

呉 春美（ゴ ハルミ）

1 書籍

『映画の名せりふ“スーパー”英語レジェンドの翻訳術に学ぶ』（共著）近代映画社、2022年4月（分担執筆：第4章「42世界を変えた男」）184-189頁

2 講演

「辰野金吾：建築美術にみるグローバリゼーションとローカリゼーション」於：東京都立大学プレミアムカレッジ、2022年12月9日

3 学会発表

「映画『グランドトリノ』に見る異文化理解と社会的背景」（個人発表）、第12回映像メディア英語教育学会 東日本支部大会（Zoom）、2022年3月13日

「大学英語教育における動画を用いた文法指導の実践と効果」（共同発表）、第27回映像メディア英語教育学会 全国大会（Zoom）、2022年11月6日

寺嶋 正尚（テラシマ マサナオ）

1 論文

寺嶋正尚・都留信行・武内千草「高松丸亀町商店街にみる生活者志向のまちづくりに関する研究」『産業能率大学紀要』41(2)、31-45頁、産業能率大学、2021年2月（査読あり）

寺嶋正尚「改正卸売市場法の施行が花卉流通及び花卉卸売業に与える影響—インタビュー調査に基づく考察—」『経済貿易研究』47、63-82頁、神奈川大学経済貿易研究所、2021年3月

寺嶋正尚・桐生進「鉢物物流におけるハーフ台車活用に関する研究」『日本物流学会誌』29、125-132頁、日本物流学会、2021年6月（査読あり）

田口裕基・寺嶋正尚・欧陽菲「若年層における香辛料の好感度に関する研究～食意識やライフスタイルとの関係性の視点から～」『産業能率大学紀要』42(1)、33-52頁、産業能率大学、2021年9月（査読あり）

矢島正・寺嶋正尚「最寄品卸売業のキャッシュ・コンバージョン・サイクルに関する研究」『産業能率大学紀要』42(1)、17-32頁、産業能率大学、2021年9月（査読あり）

2 学会報告・研究会報告

寺嶋正尚・桐生進（共同発表）「花卉の取引制度改定がケース単価及び入数に与える影響」第38回・日本物流学会・全国大会（神奈川大学）、日本物流学会、2021年9月18日

白土由佳・寺嶋正尚（共同発表）「SNS情報にみる商店街と大学の関係性に関する考察～横浜・六角橋商店街と神奈川大学の事例～」2021年度余暇ツーリズム学会・全国大会（西南女学院大学）、余暇ツーリズム学会、2021年10月30日

3 雑誌等

寺嶋正尚・桐生進「卸売市場法改正に商機を見出す花き卸—大田花き、南関東花き園芸卸売市場、新花」『ロジスティクス・ビジネス』238、34-38頁、ライノス・パブリケーションズ、2021年1月

寺嶋正尚「AIの判断ミスは誰が責任をとるべきか？」『ロジスティクス・ビジネス』245、14-18頁、ライノス・パブリケーションズ、2021年8月

道満 治彦（ドウマン ハルヒコ）

1 口頭報告

「再生可能エネルギー促進政策の日欧比較—電力システム改革・FIT制度・再エネ優先規定による再エネ事業への影響—」日本経営学会関東部会、2022年5月21日、駒澤大学（※web会議システム）

「欧州グリーンディールの前提要件としての再生可能エネルギー政策—EUにおける再生可能エネルギーの優先給電・優先接続の変遷と日本への示唆—」グローバル政治経済学（GPE）研究会／第45回持続可能性と資源貿易研究会／立教大学経済学部国際部会ワークショップ、2022年7月30日、立教大学（※web会議システム）

2 書評

「高橋洋著『エネルギー転換の国際政治経済学』、『環境経済・政策研究』Vol. 15, No. 2、2022年9月、pp. 73-76

3 競争的資金等の研究課題

課題名：公益財団法人市村清新技術財団 地球環境研究助成、「欧州グリーンディール具体化のための新産業戦略と日 EU グリーンアライアンス」、2022年2月～2025年1月、研究分担者（研究代表者：蓮見雄（立教大学経済学部教授））

戸田 龍介（トダ リュウスケ）

1 論文、その他

「国際会計基準（IAS）第41号『農業』適用企業における公正価値測定に関する調査(4) —China Modern Dairy（中国酪農企業）グループの2019年度アニュアルレポートを対象に—」『商経論叢』第58巻第1号、2022年10月、135-156頁（単著）

「国際会計基準（IAS）第41号『農業』適用企業による公正価値測定に関する調査(3) —Altri（ポルトガル森林企業）グループおよび Holmen（スウェーデン森林企業）グループの2019年度アニュアルレポートを対象に—」『商経論叢』第57巻第3号、上沼勝徳先生退職記念号、2022年3月、247-268頁（単著）

「異なる視点を読書からいかに得るか」『企業会計（「ニューノーマル時代の読書術」欄）』第174巻第1号、2022年1月、129-132頁（単著）

「日本簿記学会第37回関東部会記」『日本簿記学会年報』2021年度第37号、2022年8月、29-30頁（単著）

2 学会司会等

スタディグループ報告司会（日本会計研究学会第81回全国大会、東京大学主催 ZOOM 開催、8月28日）、主査：浅見裕子（学習院大学）、論題：「のれんの会計処理に係る包括的報告」（最終報告）

学会報告司会（日本簿記学会第38回関東部会、福島大学、我妻芳徳報告「高校簿記教育と勘定理論・勘定学説：安平昭二教授の所説を抛り所として」、6月25日）

3 研究会報告、外部資金獲得状況等

研究会報告論題：「国際会計基準（IAS）第41号『農業』適用企業による公正価値測定の実態について」（九州会計研究会、対面および ZOOM 使用のハイブリッド開催、3月20日）

研究会報告論題：「国際会計基準（IAS）第41号『農業』適用企業による公正価値測定の実態について」（農業会計研究会、ZOOM 使用開催、1月30日）

日本会計史学会 理事再選出（任期：2025年10月迄）、学会賞審査委員選出（任期：2025年10月迄）（共に日本会計史学会第41回大会にて。東京経済大学、11月5日）

中小企業会計学会理事選出（中小企業会計学会第10回全国大会にて、明治大学、11月13日）

外部資金獲得：令和3（2021）年度～令和6（2024）年度・科学研究費補助金・基盤研究（C）、課題番号21K01797、課題名「生物資産会計および自然資本会計を手掛かりとする会計全体枠組みの再構築」

鳴瀬 成洋 (ナルセ シゲヒロ)

1 著書

『アジア経済論』(共著)小林尚朗・山本博史・矢野修一・春日尚雄編、文眞堂、第16章「イタリアと一帯一路—イタリアの希望と中国の野望—」(エマヌエレ・バラルディと共著)、2022年3月、237~252ページ

兵頭 昌 (ヒョウドウ マサシ)

1 学術論文

M. Hyodo, H. Watanabe, S. Nakagawa, T. Nakagawa “Normalizing transformation of Dempster type statistic in high-dimensional settings”, *Communications in Statistics Theory and Methods*, doi: 10.1080/03610926.2022.2056749 【査読あり】

H. Watanabe, M. Hyodo, T. Sugiyama, T. Seo “Test for equality of standardized generalized variance with different dimensions under high-dimensional settings”, *Hiroshima Mathematical Journal*, Vol.52 (2), 217-223, 2022 【査読あり】

2 学会発表

中村永友・兵頭昌(オーガナイザー)「先進的な計算機環境と応用分野」、2022年度統計関連学会連合大会、2022年9月4日~9月8日(成蹊大学)

3 著書

兵頭昌・中川智之・渡邊弘己 著『よくわかる! Rで身につく統計学入門』、共立出版、2022年12月 (ISBN-10: 4320114795、ISBN-13: 978-4320114791)

4 研究助成

「標本分布の歪みに対処した新たな高次元統計解析の開発」日本学術振興会:2020-2024年度科学研究費助成事業 基盤研究(C)(統計科学関連)(研究代表者)

5 その他

【役職】

日本数学会『数学』常任編集委員

日本計算機統計学会 企画理事

舟橋 秀治 (フナハシ ヒデハル)

1 学術論文

Funahashi, H. (2023), "SABR Equipped with AI Wings," *Quantitative Finance*, forthcoming

2 受賞

神奈川大学学術褒章

3 研究助成

「人工知能を用いた派生証券価格の効率的算出手法の研究」, 日本学術振興会: 2022-2024年度, 科学研究費助成事業 若手研究 (研究代表者), 課題番号22K13436

堀江 恭子 (ホリエ キョウコ)

1 論文

「日本について発信する英語教育—経済学部の学生の意識調査と授業実践例」『教養諸學研究』第150号 (2022年3月)、pp. 25-45、早稲田大学政治経済学部教養諸學研究会

2 学会発表

呉春美・小林香織・堀江恭子「大学英語教育における動画を用いた文法指導の実践と効果」第27回 ATEM (映像メディア英語教育学会) 全国大会、2022年11月6日、オンライン発表

松村 敏 (マツムラ サトシ)

1 論文

「大正・昭和戦前期における毛利公爵家資産の性格変容—日本における『日の名残り』—」『商経論叢』第58巻第1号、2022年10月、27-133頁

2 研究ノート

「[シンポジウム報告記録] 武家華族資産家の歴史的個性—近代と前近代の連続性・関連性について—」『商経論叢』第57巻第4号、2022年6月、1-12頁

3 学会報告

「大正・昭和戦前期における毛利公爵家資産の性格変容—日本における「日の名残り」—」社会経済史学会第91回全国大会 (オンライン開催)、2022年4月30日

4 シンポジウム報告

「武家華族資産家の歴史的個性—近代と前近代の連続性・関連性について—」、シンポジウム「大名華族家と地域社会」主催: 加賀藩研究ネットワークおよび科学研究費助成金基盤研究

(B)「地域社会史の視座に立った旧藩社会の総合的研究」研究代表者宮間純一、於金沢大学サテライトプラザ（金沢市西町教育研修館）、2022年2月26日

三島 齊紀（ミシマ ムネノリ）

1 著書

信夫千佳子（編著）経営学史叢書第Ⅱ期2巻『生産性のマネジメント』（第3章「モチベーション論と生産性」を執筆）、文眞堂、2022年5月、67-87頁

2 研究ノート

「F. ゴーブル著『第三勢力—マズローの心理学』に関する補足資料」（単著）『経済貿易研究』神奈川大学経済貿易研究所、第48号、2022年3月、59-73頁

3 学会報告

「企業経営におけるマグレガー、およびアルダファー理論の難点について」日本経営学会 関東部会（中央大学）、2022年3月

「企業経営におけるマグレガー、およびアルダファー理論の限界について」日本経営学会 第96回大会（明治大学）、2022年9月

4 研究助成

令和3～4年 神奈川大学経済貿易研究所補助金、研究課題名「F. ゴーブルによる A. H. マズロー理論の咀嚼について」（研究代表者）

山本 崇雄（ヤマモト タカオ）

1 著書（分担執筆）

桑名義晴・齋藤泰浩・山本崇雄・竹之内玲子 [著]『グローバル成長と発展への経営 日本企業の再生と挑戦』文眞堂、2022年4月

2 学会報告に関わる活動

・コメンテーター

多国籍企業学会（第84回東部部会）、2022年3月19日、オンライン、テーマ：「概念に関するレビューセッション：信頼（trust）」、タイトル：「国際経営研究における信頼概念のレビュー」、報告者：馬場一（関西大学）

・chair

In parallel session A-3, The 38th EAMSA (Euro-Asia Management Studies Association) Annual Conference, Mita campus, Tokyo, Keio University, 29 October 2022

山本 博史 (ヤマモト ヒロシ)

1 著書

「タイ国憲法裁判所の変化の兆し」『世界経済評論 IMPACT』No. 2796、2022年12月19日

「政治経済構造により創られたタイの格差問題」『世界経済評論 IMPACT』No. 2476、2022年3月28日

「第13章 経済発展と格差問題—タイを事例として」小林尚朗・山本博史・矢野修一・春日尚雄編著『アジア経済論』文眞堂、2022年3月25日

「第五章タイ国家原理の変容—タイ王制と民主主義」泉水英計編著『近代国家と植民地性—アジア太平洋地域の歴史的展開』御茶の水書房、2022年3月25日

横川 和穂 (ヨコガワ カズホ)

1 著書

『国家主導資本主義の経済学—国家は資本主義を救えるのか?』溝端佐登史編「第2章：国家主導ロシア経済における財政の役割」文眞堂、2022年12月（共著）

2 論文

「ロシア北極域の住民生活と地方財政をめぐる問題：サハ共和国のケース」『ロシア・ユーラシアの社会』2022年11-12月号 (No. 1065)

3 学会報告

「ロシアにおける中央集権化と地域間財政格差—財政調整制度の検討を中心に—」比較経済体制学会自由論題、2022年6月12日、於：函館大学、2022年6月12日

“Local Community and Social Capital in Russia and Japan: A preliminary analysis”, September 16, 2022, EACES biannual conference, at Parthenope University, Naples, Italy (ZOOM 参加)

“Local Community and Social Capital in Russia and Japan”, November 4, 2022, Asia Economic Community Forum 2022, at Orakai Sondo Park Hotel Incheon, Korea (ZOOM 参加)

4 研究会報告

「財政・地域の観点から見た日露比較」新潟県立大学国際リサーチウェビナー『日露のソーシャル・キャピタルに関する国際比較研究』（比較経済体制研究会共催）於：新潟県立大学、2022年7月6日

「北極域の住民生活と地方政府の課題—サハ共和国のケース—」ArCS II 社会文化課題第2班2022年度第1回研究会、於：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター (ZOOM 参加)、2022年8月27日

「ロシアの地域社会とソーシャル・キャピタル：日本との比較を通して」比較経済体制研究会

第41回年次研究大会、於：京都大学経済研究所、2022年8月28日

“Public Services and Fiscal Problems in the Russian Arctic: The Case of the Sakha Republic”,
Slavic-Eurasian Research Center 2022 Winter International Symposium “Above the Permafrost:
How Climate Change and Resource Development are Changing Local Life in the Arctic”, Ses-
sion 2. Economy and Environment in the Russian Arctic, at Slavic-Eurasian Research Center
(SRC), Hokkaido University, December 15, 2022

5 その他（討論者）

比較経済体制学会第62回全国大会、共通論題「国家ガバナンスと企業行動：中国とロシア」討
論者、於：函館大学、2022年6月11日

渡辺 久里子（ワタナベ クリコ）

1 学会報告

藤井麻由・渡辺久里子（2022）「年金が障害者の就労・経済状況に及ぼす影響」社会政策学会
第144回（2022年度春季）大会、2022年5月14日（オンライン開催）

四方理人・渡辺久里子（2022）「離死別女性の貧困と公的年金制度」社会政策学会第144回
（2022年度春季）大会、2022年5月14日（オンライン開催）

渡辺久里子（2022）「だれが生活保護を受けているのか—「被保護者調査」を用いた分析—」
社会政策学会第144回（2022年度秋季）大会、2022年10月8日（於 日本福祉大学）

2 その他

四方理人・渡辺久里子（2022）「離死別女性の貧困と公的年金制度」『公的年金制度の所得保障
機能・所得再分配機能に関する検討に資する研究 令和3年度総合研究報告書（厚生労働科
学研究費補助金政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））研究代表者：山田篤裕』

藤井麻由・渡辺久里子（2022）「年金等が障害者の就労・経済状況に及ぼす影響」『公的年金制
度の所得保障機能・所得再分配機能に関する検討に資する研究 令和3年度総合研究報告書
（厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））研究代表者：
山田篤裕』